

教員の紹介



岡 敏弘 教授

今年3月末をもって京都大学を定年退職しました。経済学研究科の教員・職員みなさまにはたいへんお世話になりました。6年という短い期間でしたが、継続して公共政策大学院と経済学研究科の両方を担当させていただいたことは幸いでした。公共の職業人を含む学生と経済学研究科の院生とが混ざった自主ゼミを、3年めの終わり頃から持つことができ、大変おもしろく充実した日々を送りました。後半の3年間は優れた院生に恵まれて、やりたいと思っていた研究ができました。このような素晴らしい教育と研究の環境をいただいたことに感謝しています。

4月からは同志社大学商学部・商学研究科に勤務します。私立大学は初めてで、違いを味わいたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

ケヴヘイッシュウィリ・ルースダン 講師

2025年3月31日 退職

・京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

岩瀬 祐介 講師

2025年3月31日 退職

・京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

・京都大学公共政策大学院 講師（併任）



Professor
Alireza NAGHAVI

I am delighted to join the Graduate School of Economics at Kyoto University and feel privileged to be part of the university's distinguished educational and research environment. After nearly 20 years at the University of Bologna, I look forward to this new cultural and academic experience in Japan. My research focuses on international trade and economic development, with particular interest in topics such as intellectual property rights, global value chains, migration, innovation, and the economics of religion and culture. My work has been published in journals including the Economic Journal, Journal of Economic Growth, Journal of International Economics, and Journal of Development Economics. I have served as principal investigator on various projects, such as INGENIUS on global innovation networks funded by the European Commission, and a recent national project funded by the Italian Ministry of Education on "New Protectionist Policies: Political Determinants and Economic Consequences." My teaching has primarily focused on international trade, and I look forward to contributing to both research and education at Kyoto University.



山崎 潤一 准教授

初めまして、山崎と申します。元は三河の生まれで、東京大学で修士、ロンドンスクールオブエコノミクスで博士を取得、2017年に神戸大学に着任後、2024年10月に経済学部に進任して着任しました。

私の元々の専門は開発経済学ですが、今はその中でも日本経済史や都市に関する実証研究を多く行っており、それらに関する授業を担当する予定となっています。特定の専門や手法に固執せず、時々で重要だと思う課題に自分の強みを活かして取り組んでいければと思っています。

昨今の大学を取り巻く情勢は決して穏やかなものではありませんが、京都大学には古き良き大学らしい気風を学生さんの話の中に感じ、嬉しくなったことがあります。自主性を重んじる文化を大切にしつつ、研究や教育活動に邁進していこうと思っています。